

◎基本情報

事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人權課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	文化財保護法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 16 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		文化財			
施策	3	文化財の保護と活用			
基本事業	2	文化財の保護と活用			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ①国指定史跡「鳴門板野古墳群」 ②「板東俘虜収容所跡」 ③市域内出土収集文化財														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の普及活用 ②「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用														
事業計画	28年度に何を計画していたか	①「鳴門板野古墳群」の国指定史跡化と、指定に伴う普及活用事業(シンポジウム等)の実施や案内表示等の整備に関する検討 ②「板東俘虜収容所跡」の指定申請範囲に関する土地の境界確認作業 ③市域内出土収集文化財の整理および活用														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>史跡等地域文化財の保存活用</td> <td>/</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	史跡等地域文化財の保存活用	/	10	20	30	40	%
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
史跡等地域文化財の保存活用	/	10	20	30	40	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①「鳴門板野古墳群」の国指定史跡化をうけて、市立図書館で展示会を開催したほか、文化庁の担当調査官や考古学の専門家などをパネリストに迎えて史跡指定記念シンポジウムを開催した。また、現地の説明板の新設・改修をおこなった。 ②「板東俘虜収容所跡」の指定申請範囲に関する土地の境界確認作業をおこなった。 ③収蔵している民俗文化財(農具)の貸し出しや出前講座での写真紹介をおこなった。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 「鳴門板野古墳群」の国指定史跡化	90	100	/	/	/	%
	2 「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化	70	80	90	100	/	%
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	史跡等地域文化財の保存活用		10	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)	/	100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成28年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	99	0	200	189	488
		補正予算額		0	0	0	1,100	0	1,100
		繰越予算額		6,146	0	0	0	0	6,146
		全体予算額		6,146	99	0	1,300	189	7,734
		決算額		6,146	99	0	1,300	110	7,655
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.8	0.0	5,706		13,361			

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	5,493	7,655	633	466	466
	うち一般財源	5,394	110	600	466	466
	人件費	7,623	5,706	5,706	5,706	5,706
	総事業費	13,116	13,361	6,339	6,172	6,172

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		①古墳群の国指定に伴うシンポジウムや説明板の整備ができた。 ②収容所跡の指定申請に向けた境界確認作業を実施できた。
	効率性	B:概ね効率的だった		人員が不足する中、業務委託などにより必要な作業を進めることができた。
②成果に対する評価	指標名	史跡等地域文化財の保存活用		古墳群を国指定史跡とすることができ、保存活用に向けた第1歩となる指定記念シンポジウムや説明板の整備ができた。また、収容所跡の国指定史跡の申請に必要な作業を行うことができた。
	目標	10	%	
	実績	10	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		古墳群の指定史跡化が実現し、これに伴う普及活用や環境整備を行うことができ、収容所跡についても必要な作業を実施できたが、収集文化財の整理や展示活用は十分行えなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡指定を受けた古墳群の保存活用計画策定に向けた検討委員会を設置し、有効的な活用方針や整備の基本方針等について検討する。 ②史跡の環境整備事業や、史跡を活用した普及啓発事業を継続して実施する。 ③収容所跡の土地所有者と指定の同意をいただくための協議・交渉を進めていく。 ④収蔵文化財は、資料の整理を進めるとともに展示や貸し出し等の活用を図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	①古墳群：市立図書館で展示会を行うほか、古墳めぐりウォーキングを実施する。また、保存環境維持のための環境整備事業を継続するとともに、検討委員会設置に向けた準備をおこなう。 ②収容所跡：指定対象範囲の土地所有者の同意取得を進め、平成30年1月末の指定申請書提出を目指す。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			
	H30年度	①古墳群：展示会や現地見学会などの活用事業を行うとともに、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡：史跡指定が決まれば、周知のための普及活用事業を実施する。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			